

JENESYS2025 日本・カンボジア日本語・日本文化交流（日本人大学生派遣）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

将来、日本語教師になることに関心を有する日本の大学生 8 名が、1 月 27 日から 2 月 3 日まで、日本語・日本文化交流をテーマにカンボジア（プノンペン）を訪問しました。

一行は、日本語教育の現場を視察するとともに学校交流において日本語のレクチャーを実施しました。これにより、カンボジアの教育事情への理解を深めるとともに、将来日本語教師として活躍する自身の姿を具体的にイメージできる機会となりました。また JENESYS 招へいプログラムの同窓生や現地の学生との意見交換を通じて、自国の文化や価値観を紹介し合い、相互理解と友好関係を深めました。さらに、国立博物館やトゥールスレン虐殺博物館などの文化視察を通して、カンボジアの歴史や社会背景について学びました。ホームステイでは現地の家庭生活を体験し、文化や習慣の違いを肌で感じました。参加学生は、今回のプログラムで得た学びや日本の魅力を SNS 等で発信し、両国の友好促進とネットワーク強化に取り組みました。

【参加者】日本の大学生 合計 8 名

【訪問地】カンボジア プノンペン 8 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

- | | |
|----------------|---|
| 8 月 26 日（火曜日） | 【オリエンテーション】 全体初回オリエンテーション
【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」
2025 年度全 JENESYS ASEAN 派遣プログラム合同実施
講師：国際機関日本アセアンセンター（東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター）観光交流チーム 渡邊 光生 氏 |
| 10 月 10 日（金曜日） | 【講義】 テーマ関連講義
「CJCC における活動、及びカンボジア全体の日本語教育について」
講師：独立行政法人国際交流基金 カンボジア日本人材開発センター
日本語専門家 レイン 幸代 氏 |
| 12 月 17 日（水曜日） | 【勉強会】 派遣国理解 |
| 1 月 16 日（金曜日） | 【参加者説明会】 |

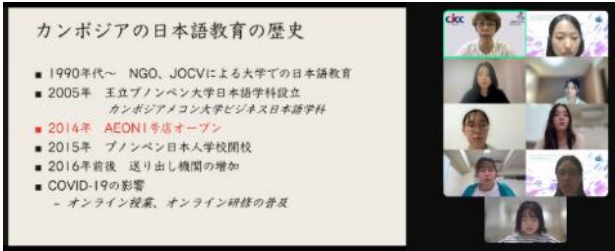
■ 派遣プログラム:

- | | |
|---------------|---|
| 1 月 27 日（火曜日） | 【出発前オリエンテーション】
成田国際空港より出発
プノンペン テチヨ国際空港到着 |
| 1 月 28 日（水曜日） | 【表敬訪問】 在カンボジア日本国大使館 植野 篤志 大使
【表敬訪問】 カンボジア青年・教育・スポーツ省
【交流】 JENESYS 招へい同窓生との交流 |

- 1月29日（木曜日） 【学校交流】カンボジア王立プノンペン大学
【交流】カンボジア日本人材開発センター（CJCC）
【視察】国立博物館
- 1月30日（金曜日） 【視察】Meriawa Education Sala Sekai（保育所）
【視察】ロシアンマーケット
【視察】トゥールスレン虐殺博物館
【講義・視察】独立行政法人国際協力機構（JICA）カンボジア事務所
「JICA 事業概要及び JICA カンボジア事務所における ODA 事業について」
講師：JICA カンボジア事務所 事務所員 澤 茉莉 氏
【ホストファミリー対面式・ホームステイ】
- 1月31日（土曜日） 【ホームステイ】
- 2月1日（日曜日） 【ホームステイ】
【ワークショップ】報告会準備（渡航成果のとりまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
- 2月2日（月曜日） 【報告会】渡航成果・帰国後の活動計画発表
【ホストファミリー歓送会】
【視察】セントラルマーケット
【視察】キリングフィールド
- 2月3日（火曜日） テチヨ国際空港より出発
成田国際空港到着

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
2025年8月26日【講義】 「ようこそ、日本アセアンセンターへ」	2025年8月26日【講義】記念撮影
	
2025年10月10日【講義】テーマ関連講義 「CJCC における活動、及びカンボジア全体の日本語教育について」	2025年12月17日【勉強会】派遣国理解

派遣プログラム

	
2026 年 1 月 27 日【出発前オリエンテーション】	2026 年 1 月 28 日【表敬訪問】 在カンボジア日本国大使館 植野 篤志 大使
	
2026 年 1 月 28 日【表敬訪問】 カンボジア青年・教育・スポーツ省	2026 年 1 月 28 日【交流】 JENESYS 招へいプログラム同窓生との交流
	
2026 年 1 月 29 日【学校交流】 カンボジア王立プノンペン大学 (プレゼンテーション)	2026 年 1 月 29 日【学校交流】 カンボジア王立プノンペン大学 (日本語レクチャー)
	
2026 年 1 月 29 日【学校交流】カンボジア日本人 材開発センター (文化体験「書道」)	2026 年 1 月 29 日【学校交流】カンボジア日本人 材開発センター

	
2026 年 1 月 29 日【視察】国立博物館	2026 年 1 月 30 日【視察】Meriawa Education Sala Sekai（授業体験）
	
2026 年 1 月 30 日【視察】ロシアンマーケット	2026 年 1 月 30 日【視察】 トゥールスレン虐殺博物館
	
2026 年 1 月 30 日【講義・視察】JICA	2026 年 1 月 30 日【ホームステイ】
	
2026 年 1 月 31 日【ホームステイ】	2026 年 2 月 2 日【報告会】

	
2026 年 2 月 2 日【報告会】記念撮影	2026 年 2 月 2 日【視察】キリングフィールド

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学生

プレプログラム 2 回目のレイン先生の講義では、カンボジアの日本語教育についてだけでなく、国際交流や異文化に関わる時に大切なことや、教育について学ぶことができました。具体的には、〇〇人としてではなく、一人ひとりの個人として相手と関わるのが大切である、というお話が印象に残りました。どうしても相手の国籍に関する固定概念や既存のイメージを持ってしまいうこともありますが、個人として相手と関わるのが、その人との出会いを大切にすることに繋がるのではないかと、このお話を聞いて考えることができました。また、日本語を教えること以外の仕事にも積極的に取り組むと、自分の世界を広げることに繋がること、そしてその国によって「良い教育」や目指すゴールが異なるため、学習者の目的や環境に応じた教育をすることが大切であるという点も、先生のお話から学ぶことができました。

◆ 大学生

カンボジア王立プノンペン大学とカンボジア日本人材開発センターでの日本語・日本文化交流は、とても有意義な時間になりました。お茶とお菓子をお出しすると、参加者の皆様がとても喜んでくれて、「苦いけどおいしい」「楽しかった」という声をたくさんいただきました。意欲を高く持って日本語を学んでいる学生たちと話す中で、改めて日本の良さを再認識するとともに、これからもたくさんの人に興味をもってもらえる国であり続けたいと思いました。

◆ 大学生

最も良かった点は、ホームステイを通して現地の家族と生活を共にし、カンボジアの文化や価値観を日常の中で体験できたことです。伝統的な料理と一緒に食べたり、民族衣装や踊りを紹介していただいたりする中で、教科書や資料だけでは学べないリアルな文化について、理解を深めることができました。また、文化の違いで大変なこともありましたがやそれぞれの国の良さを再確認することができました。さらに、言葉が十分に通じなくても、笑顔やジェスチャーを通して気持ちを伝え合うことで、国や文化の違いを越えて心が通じ合うことを実感できました。

◆ 大学生

交流する中で、カンボジアと日本の魅力を互いに伝え合うことができました。また、カンボジア人との会話やホームステイなどを通して、カンボジアの様々な魅力も体感することができました。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先関係者

学生の皆様がこの 1 週間という期間の中で、カンボジア、また両国間の関係性や歴史に関して、様々なことがわかり、大変興味深く、また嬉しく思いました。

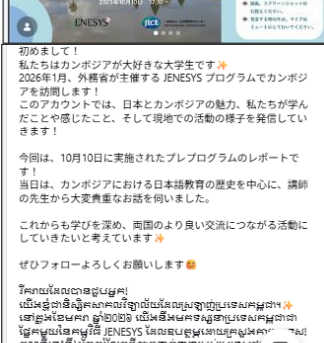
◆ 視察先関係者

学校交流にカンボジア側の参加者もたくさん来てくれて、非常に有意義で良い交流になり、参加者も大変楽しんでいました。機会があればまたぜひよろしくお願いいたします。

◆ ホストファミリー

日本人大学生を迎え入れることを大変楽しみにしておりました。カンボジアの料理や生活を肌で体験してほしい、料理を手伝ってもらいましたが、楽しんでくれていたら嬉しいです。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

 JENESYS2025派遣 プレプログラムの カンボジア 日本語・日本文化交流 2025年10月10日（土） 初めまして！ 私たちはカンボジアが大好きな大学生です。✨ 2026年1月、外務省が主催する JENESYS プログラムでカンボジアを訪問します！！ このアカウントでは、日本とカンボジアの魅力、私たちが学んだことや感じたこと、そして現地での活動の様子を発信していきます！ 今回は、10月10日に実施されたプレプログラムのレポートです！ 当日は、カンボジアにおける日本語教育の歴史を中心に、講師の先生から大変貴重なお話を伺いました。 これからも学びを深め、両国のより良い交流につながる活動にしていきたいと考えています ✨ ぜひフォローよろしくお願いします 🍵 🇰🇲ខ្ញុំគឺជាសិស្សកម្ពុជាដែលចូលរួមក្នុងប្រព័ន្ធឯកសារ។ យើងផ្តោតលើការសិក្សាអំពីវប្បធម៌ និងភាសាជប៉ុន។ នៅថ្ងៃទី១០ ខែតុលា ឆ្នាំ២០២៥ យើងបានចូលរួមក្នុងប្រព័ន្ធឯកសារ។ ក្នុងកម្មវិធីនេះ JENESYS យើងបានសិក្សាអំពីភាសាជប៉ុន និងវប្បធម៌។ យើងបានសិក្សាអំពីភាសាជប៉ុន និងវប្បធម៌។ យើងបានសិក្សាអំពីភាសាជប៉ុន និងវប្បធម៌។ យើងបានសិក្សាអំពីភាសាជប៉ុន និងវប្បធម៌។	 3. アンコール遺跡について ◦ カンボジア北西部(シェムリアップ州) ◦ クメール王朝の王都を中心とした巨大な都市遺跡群 ◦ 世界最大の宗教建築、高度な技術・芸術の精巧さが特徴 ◦ 高度な都市文明 ◦ 近代ごとに国家宗教が入り替わり、建築や意匠が重なり合って残った遺跡群 ◦ アンコール・トム → 仏教王による仏教的王都 ◦ アンコール・ワット → ヒンドゥー教のバリスナ派を祀る寺院 ◦ タ・プローム → バンテアイスレイ → ペニンシア → ユネスコ世界遺産 4. クメール文化の華 アプサラの踊り • 起源 → 数世紀ごら成立 → アンコール・ワットのライオン・守衛のレリーフに多数の舞踏像が刻まれ、宮廷文化として高度に発展したことが確認できる • アプサラとは → 天女・天婦 → セビダラ(歌神)に登場する水の精で、神々に仕える存在 → 舞踏は神への奉納・祈りの儀式として行われた • 信仰の融合 → セビダラ(歌神)を基盤につづ、仏教やヒンドゥー教の神聖思想を取り込み、宗教的多様性を持つ舞踏へと変化した 器楽音楽の伝統 • 小規模の合奏形式が多いのが特徴 • フンピット Pimpeat → 宗教性のある儀式で演奏される → アンコール・ワットのレリーフから歴史の長さが見える → 現在は結婚祝いや、誕生日でも一般的に演奏される → 伝承者は少ない • モハオリ Mohori → 宗教的な祭典ではないので、日常の楽しみで演奏される → 歌と交差しメロディーを演奏することが多い
2025 年 11 月 2 日 (Instagram) 大学生 初めまして。 私たちはカンボジアが大好きな大学生です。 2026 年 1 月、外務省が主催する JENESYS プログラムでカンボジアを訪問します。 このアカウントでは、日本とカンボジアの魅力、私たちが学んだことや感じたこと、そして現地での活動の様子を発信していきます。 今回は、10 月 10 日に実施されたプレプログラムのレポートです。 当日は、カンボジアにおける日本語教育の歴史を中心に、講師の先生から大変貴重なお話を伺いました。 これからも学びを深め、両国のより良い交流につながる活動にしていきたいと考えています。	2026 年 1 月 13 日 大学生 JENESYS 2025 派遣前学習 【カンボジアの文化】 カンボジアの文化について紹介します。 1. カンボジアの基本情報 2. クメール文明について 3. アンコール遺跡について 4. クメール文化の華 アプサラの踊り カンボジアの文化紹介（カンボジアと音楽） 伝統的な器楽音楽、著名な音楽家、現代のアーティストに渡るまで幅広く紹介。



2026 年 2 月 22 日 (Instagram)

大学生

二日目。

午前は、在カンボジア日本国大使館を表敬訪問し、大使館の役割や日本とカンボジアの関係などについてお話を伺いました。

次にイオンモールを訪れました。カンボジアにはイオンモールが 3 店舗あり、日本文化の発信拠点となっています。

その後、カンボジアの教育省であるカンボジア青年・教育・スポーツ省を表敬訪問し、カンボジアの教育状況や教育改革についてお話を伺いました。カンボジアの伝統布クロマーをプレゼントしていただきました！

JENESYS 招へい同窓生の皆さんも駆けつけてくださり、交流を楽しみました。



2026 年 2 月 22 日 (Instagram)

大学生

三日目。

三日目は、カンボジア王立プノンペン大学の日本語学科とカンボジア日本人材開発センター (CJCC) を訪問しました。

日本の四季や都道府県ごとの魅力を紹介し、茶道や書道の文化を体験していただきました。

熱心に日本語を勉強される皆さんと楽しく交流することができました。

その後、プノンペン国立博物館を訪れました。

アンコール・ワットは首都プノンペンから離れたシェムリアップ州にあるため、今回私たちは訪れることが叶いませんでしたが、破損を防ぐためにこちらに収蔵された貴重な展示物の数々を見ることができました。

夕方には、王宮前に位置するロイヤル・パレス・パークや、リバーサイドを散策しました。このスポットはトンレサップ湖から流れるトンレサップ川とメコン川の合流点に位置しています。多くの人で賑わっており、散歩に最適です。



2025 年 2 月 22 日 (Instagram)

大学生

四日目

午前には Meriawa Education- Sala Sekai を訪問しました。

日本式の幼児教育を取り入れ、様々なルーツの子どもたちが通う保育園を運営される園長先生や先生方にお話を伺いました。

午後は 1975 年から 1979 年のポルポト政権下で政治犯収容所として使われていた、トゥールスレン虐殺博物館を見学しました。

その後、JICA カンボジア事務所を訪問し、教育やインフラ整備をはじめとした国際協力の取り組みについてお話を伺いました。



2025 年 2 月 22 日 (Instagram)

大学生

五日目

五日目からホームステイが始まりました。

3 つのグループに分かれてホームステイをさせていただきました。それぞれの家庭で違う体験ができ、どのご家庭も温かく迎えてくださり、カンボジアの日常を肌で感じる事ができた一日でした。

ホストファミリーの方々と一緒に、シアヌークビルの美しいビーチを訪れ、海や現地の雰囲気を楽しみました。

また、カンボジアの伝統衣装を着る貴重な機会もいただきました。

一緒にご飯を食べたり、家族とゆっくり話をしたり、言葉が完璧に通じなくても笑顔で通じ合える時間でした。

観光では見えない「暮らし」を体験できたことは、かけがえのない経験でした。



2026 年 3 月 5 日～更新中 (アクション・プランの一環として、参加者共有の Instagram アカウントでカンボジアについて発信)

カンボジアの伝統的な衣装やスカーフ「クロマー」の紹介、カンボジアのカフェ文化が栄えていたことを踏まえて日本のカフェとカンボジアのカフェの紹介、有名な観光地の紹介などをスライド画像やプログラム中に記録した動画などを編集して発信。

 2026 年 1 月 29 日（カンボジア青年・教育・スポーツ省の Facebook） 「JENESYS プログラムの代表者との懇談会とディスカッション」	 2026 年 2 月 5 日（JICA カンボジア事務所の Facebook） 「1 月 30 日、「対日理解促進交流プログラム JENESYS2025」の 10 名をお迎えしました」
--	--

6. 報告会での渡航成果とアクション・プラン発表（抜粋）

全 1 グループ発表





【成果の発表】

カンボジアでは、日本の技術や製品が日常生活の中で広く活用されていることを実感しました。水道インフラ整備や「きずな橋」「つばさ橋」など、日本の支援で建設された施設は国の発展を支えており、紙幣にも描かれるほど重要な存在となっています。また、日立やソニーの家電、イオンの商品、日本車など、日本製品は品質の高さから高い信頼を得ています。さらにアニメや映画を通じた文化発信、四季や観光地の豊かさ、便利な交通網など、日本には多様な魅力があります。一方で、カンボジアには家族の絆の強さ、温かいおもてなし、若者の活気、伝統文化や料理の豊かさといった、日本人にこそ知ってほしい魅力が多くあります。両国の魅力を理解し合うことで、より良い相互理解と交流の発展が期待されると考えます。

【アクション・プラン】

私たちと同世代の日本とカンボジアの若者を中心に、SNS を通して、両国の魅力を発信していきます。より多くの人に日本とカンボジアの魅力を発信できるよう、Instagram だけでなく、カンボジアで主に利用されている Facebook を活用し、投稿していきます。合計で 30 件以上の投稿を行うことを目標としています。実際にカンボジアを訪れ、文化交流を行った私たちだからこそ伝えられる、リアルな魅力や経験を発信していきたいと考えています。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）